

インフルエンザ(2026年第6週)疫学情報 《コメント》

2026年第6週の定点当たり報告数は43.34(患者報告数164,744)となり、前週の定点当たり報告数30.03よりも増加した。都道府県別では鹿児島県(74.82)、大分県(69.67)、千葉県(62.69)、愛媛県(61.62)、宮城県(60.82)、山梨県(60.23)、埼玉県(60.17)、栃木県(58.40)、宮崎県(56.93)、静岡県(56.00)、神奈川県(55.76)、愛知県(55.28)、茨城県(55.03)、長崎県(54.59)、三重県(53.38)、福島県(53.23)、熊本県(52.21)の順となった。全国47都道府県中、46都道府県では前週の報告数よりも増加し、1都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は834例であり、前週(708例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(43例)、1~4歳(99例)、5~9歳(185例)、10代(162例)、20代(22例)、30代(24例)、40代(26例)、50代(23例)、60代(34例)、70代(70例)、80歳以上(146例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2026年第2週～2026年第6週)では、AH3亜型が140件(52%)、B型が129件(48%)、AH1pdm09が1件(0%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。